

GEヘルスケア・ジャパン
汎用超音波診断装置の新モデル, 病院内でのMobile使用を想定した
「LOGIQ P9」, 開業医向け「LOGIQ P7」発売
(2015/5/19)

「LOGIQ P9」と「LOGIQ P7」は, 医療現場の声を反映し, 操作する医療従事者の利便性を追求した新機能および, 日本の顧客ニーズに対応するソリューションを搭載した新製品。

技術革新による超音波検査の幅の広がりや患者の高齢化に伴い, 病棟での検査が増える現状に対応するため, 運搬しやすいコンパクトサイズで60kgというクラス最軽量^{*1}を実現した。

これは, 検査技師の約7割程度が女性であると考えられることから, 女性にとって優しい軽量装置となっている。大型ワイドモニター, タッチパネルの搭載, 移動後も速やかに操作を開始できる電源装置「Mobile Assistant^{*3}」を搭載(「Mobile Assistant」は LOGIQ P9 のみ), スムーズな検査環境を実現してストレスの軽減を図った。

さらに, 操作に対する疑問やトラブルに迅速に対応するために, 技師自身が瞬時に操作方法を確認できる取扱い説明動画「マイトレーナー」を初搭載^{*2}, 使用方法に困った際にもすぐ確認できるため, 検査効率の向上に貢献する。



LOGIQ P9